



市国際交流協会会員
高根沢 大地さん(34歳)



リンツ市の美しい街並み



市役所に入ると航空写真がお出迎え

—子どもたちの個性を生かす教育環境—

石造りの建物が織りなす歴史ある街並み。とても気さくでフレンドリーな人々。リンツ市には、訪れた人を引き付ける魅力があちらこちらにありました。

特に印象的だったのがリンツ市の教育環境。入学時に各家庭での負担が少なく、家庭環境ではなく学力で学校が決まります。日本とは違い入学より卒業が大変で、子どもたちが頑張った分だけ将来の選択肢が広がるので、夢がありますよね。そういった環境で学んでいるからか、自ら発表したり説明したりする能力は高いのかなと思います。本市も ALT の全校配置など教育に力を入れていますが、これからは「個性を生かす教育が必要」と感じました。

また、リンツ市役所のロビーには、市内の航空写真が床一

面に貼られており、来庁者を楽しませる「おもてなし」の工夫がなされていました。道に迷い、現地の人にカタコトの英語で尋ねた時にも親切丁寧に説明してくれ、言葉ではなく心が通じ合っている気がして嬉しかったです。

—オーストリア・フェスタで気軽に異文化交流を—

ヨーロッパといえば、フランスやイタリアの方が有名ですが、オーストリアに行くともヨーロッパの良いところを感じられます。ちょっとオーストリアは遠い・・・、そう感じている皆さんは今度開催するオーストリア・フェスタで、食・文化などに触れられますので、気軽にオーストリアの雰囲気を感じてください（詳細は次ページ）。



かけがえのない友人



壮大なマリア大聖堂

—将来の夢を見つけるきっかけに—

中学2年生のときに市の海外派遣研修事業で訪れたリンツ市。私にとって、人生で初めてのホームステイだったので、目に見えるもの、聞くもの、触れるものすべてが新鮮でした。滞在中は、現地の学校を訪問したり、街中を散策したり、ホストファミリーと一緒に湖の見える展望台に行ったりした思い出があります。学校訪問のときにはたくさん写真を撮りました。言葉は通じなくとも、カメラを向ければ自然と笑顔が返ってくれて、人の温かさを感じました。

リンツ市での経験から、海外そのものに興味を持ち、将来は国際的な仕事がしたいと思うようになりました。ホストファミリーから小さな独英辞書もらったことがきっかけでドイツ語を勉強しようと思い、大学ではドイツ語を専攻しました。在学中はスイスのドイツ語圏の街に1年間留学。リンツ市で見た、日本とは違う建築様式の壮大な建造物が印象的で興味があったため、都市計画・都市政策を学びました。そして昨年、ニュージーランドで就学・就労し、今は外資の企業に勤めています。そうです、夢を叶えることができました！



黒磯北中学校卒業生
新里 葵さん(26歳)

—文化の違いを肌で感じてほしい—

私にとって将来の夢を見つけるきっかけとなったリンツ市。皆さんの中でも、旧青木家那須別邸を訪れたことがある人は多いと思いますが、ぜひ機会があれば日本を飛び出してリンツ市に行ってみてください。街の匂いとざわめき、道を歩く人たちの姿、歴史ある建造物など、写真や画面越しとは違った街の姿を肌で感じてほしいです。子どもたちにとっては私のように将来の選択肢が広がると思いますし、大人にとっても新たな発見がたくさんあると思いますよ。



ペストリクベルクの風景



ドナウ川でのイベント「クラングウォルケ」



リンツ市の昔ながらの街並み



音に合わせて行われる花火や
ライトショーの様子

姉妹都市



リンツの魅力

—Legacy—

姉妹都市リンツ市の良さをすることで、本市の良さに気づくことも。ここでは、リンツ市との交流事業の一環で現地を訪れた人にインタビューを行い、それぞれが感じたこと、今にどう生かされているかなどを伺いました。



リンツ市を流れる広大なドナウ川



世界有数の鉄工所
フェストアルピーネ社



市国際交流協会理事長
大島 三十三さん(60歳)

—物事を考えるときの視野が広がった—

平成27年に初めて訪れたオーストリアでは圧倒されることばかりでした。北海道のような広大な農地や、東京ドーム110個分の敷地を持つ世界有数の鉄工所など、面積は小さな国なのにスケールは大きく感じました。

また、リンツ市では子育て支援を企業が自主的に行ったり、医者診察を受ければ温泉への入浴が保険適用となったりと、那須塩原市でも工夫すれば取り入れられることがあるのではないかと思います。オーストリアの文化を知り、自分たちの文化の良さを再認識することで、視野が広がるきっかけになりましたし、この経験は今も生かされています。

—このまちにも誇るべき良いところがある—

例えば、視察したリンツ市の学校では、子どもたちは教室の掃除をしません。先生に、「日本では教室を子どもたちが掃除する」と話したところ、「子どもの将来のためにはそのほうがいいですね」という声をいただきました。

リンツ市では、すれ違う人が気軽にあいさつをしてくれて、人の優しさを感じました。私は、観光客への「おもてなし」は、旅館など観光業界の人だけでなく、市民一人ひとりがあいさつを親切にすることで、人の優しさを感じてもらえることが大切だと思います。リンツ市には見習うべき良さがあり、本市にも独自の良さがあります。良いところは積極的に取り入れながらも、誇るべき長所は次世代にしっかりと引き継ぎ、残していきたいですね。